

専門職員の採用計画は？

計画的な採用と適正な人員配置を図る



退職者採用人数は

計画的採用による人事構成を図る。

藤井 保健師、栄養士など資格を持った職員が、行政サービスの向上のためには、重要な仕事になってきます。

少子化対策、地域経済の安定、そして安心して老後の生活ができる、私はピンピンコロリ対策とっています。自治体行政向上、町長の思い伺つ。

介護保険法改正をどう乗り越越えるか

平成29年4月から開始する計画。

藤井 保険料の値上げを行い、要支援1、2を外し施設から在宅に特別養護老人ホームの入所者を介護度3以上の人に限定。要支援者サービスの移行が、平成27年度から始まるわけですが、最終年度までどのようにして、この難局を乗り越えていくのか、どう対処していくのか。

町長 今年度の職員数は138名で目標人員数より5名増となっております。今年度につきましては、退職者8名が予定されており、平成27年度の採用は9名の内定をしております。内訳は、行政職7名保健師1名、保育士1名となっております。保健師につきましては、昨年度も1名を採用しており、これからの高齢化社会における適切な対応を図るため、計画的な採用による人事構成を図ってまいると考えてあります。

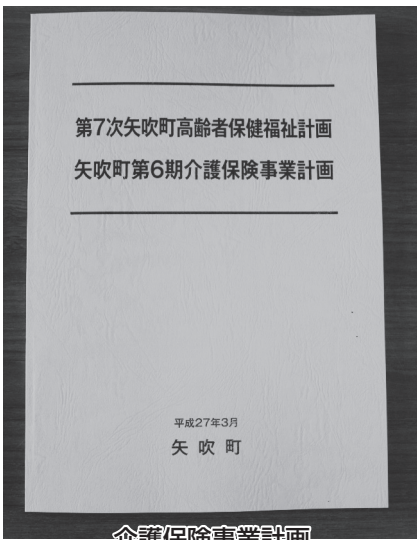
町長 「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の実施については、移行期間が設けられており、平成29年4月までに全ての市町村で開始することとされています。

農協改革をどのように思っているか

豊かで暮らしやすい地域社会の実現が重要

藤井 米づくりの喜びがなくなってきた今、水田の、耕作放棄地が心配されます。この農協改革は、段階的に農業を潰す改革、そのように私は捉えています。今、政府が強力に推し進めている農協改革をどのように思っているのか。

町長 政府による農協改革につきましては、「規制改革議会」の提案に沿った中央監査制度の廃止や、金融・共済部門の分離議論など、地域の声を置き去りにしており、農業所得の増大や政府が進める「地方創生」に逆行する動きではないかといった意見があるとも聞いております。JAの自己改革の基本としている「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現を目指すことが、農協改革においても重要であると考えます。



介護保険事業計画